

ふじみ衛生組合リサイクルセンター整備基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1 パブリックコメントの概要

- (1) ご意見の募集期間 令和3年12月20日（月）から令和4年1月20日（木）まで
- (2) 周知方法 広報みたか令和3年12月19日号、市報ちょうふ令和3年12月20日号、ふじみ衛生組合、三鷹市及び調布市のホームページ
- (3) リサイクルセンター整備基本計画（案）の閲覧場所
ふじみ衛生組合ホームページの他、ふじみ衛生組合、三鷹市生活環境部ごみ対策課、調布市環境部ごみ対策課

2 パブリックコメントの結果概要

- (1) ご意見提出件数：29件（6人）
- (2) ご意見とふじみ衛生組合の考え方 別紙のとおり

計画全般について

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
1	結果的に焼却施設とともにリサイクルセンターを引き続き周辺住民に押し付ける形になってしまうので、周辺住民へ十分な説明と継続的なコミュニケーションを行って欲しい。	ご意見を踏まえ、計画を進めてまいります。
2	調布市クリーンセンターでも粗大ごみとびん・缶の処理をしているようだが、そちらとの兼ね合い、役割分担はどうなっているのか?	調布市クリーンセンターでは粗大ごみ、びん・缶、古紙古布の保管積替などを行っており、ふじみ衛生組合リサイクルセンターでは、三鷹市及び調布市の不燃ごみ、容器包装プラスチック、ペットボトル、びん・缶、粗大ごみ及び有害ごみの処理を行っております。
3	B案は暫定処理の点でC案よりも優位だが、新建屋の面積が小さくなることで作業効率の低下や将来の設備更新の際に支障は出ないのか?	支障がないよう計画を進めてまいります。

整備手法について（リサイクルセンター整備基本計画（案）7ページ 7 整備手法）

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
4	基本構想のB案ではペットボトルは組合内処理になっていたが、今回の素案で焼却処理になった理由は?	リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。
5	暫定処理スペースは、ふじみ衛生組合の用地のみで検討しているようだが、外部の土地を利用することで暫定処理費用の低減やプラスチック・ペットボトルの焼却を回避できないか? 井口グラウンドなどが考えられると思う。	暫定処理施設であっても、ごみ処理工場であり、準工業地域等の用途地域に建設することが望ましく、外部の土地を利用するには、土地の確保や諸手続きを勘案すると難しいと考えています。
6	処理施設の建替期間中は「自区域内処理の原則」よりも、総合的に見た環境負荷の低減のほうが優先されるべきではないか?	CO2増加の問題は認識しており、できるだけリサイクルを行いたいとの考えをもちますが、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りました。
7	一部の品目や一部の量を、周辺市区に処理してもらうことはできないか? もちろん周辺市区が処理施設の更新を行う際には、三鷹市と調布市が一部の処理を引き受ける必要がある。	近隣の自治体でプラスチック及びペットボトルの受入れの余力がある施設はありません。現時点で受入れが可能と考えられる施設は、遠方の民間処理施設のみです。遠方の施設まで時間内に収集運搬するためには車両台数を増やす必要がありますが、工事期間中のみ車両台数を増やすことは、工事期間中のみ増車・増員しなければならない収集運搬業者への負担になり、また、車両台数の増加による他自治体での環境負荷の増加につながります。
8	例えば、びん・缶、ペットボトルであれば市区による分別の違いはほぼないと思われ、受け入れてもらうハードルも低いのではないかと。例として、びん・缶、ペットボトルを周辺市区で処理してもらい、その分の空いた処理スペースでプラスチックをリサイクル処理できないか?	近隣の自治体でペットボトルの受入れの余力がある施設はありません。現時点で受入れが可能と考えられる施設は、遠方の民間処理施設のみです。遠方の施設まで時間内に収集運搬するためには車両台数を増やす必要がありますが、工事期間中のみ車両台数を増やすことは、工事期間中のみ増車・増員しなければならない収集運搬業者への負担になり、また、車両台数の増加による他自治体での環境負荷の増加につながります。 びん・缶については、三鷹市の収集形態がびん・缶混合での収集で、近隣自治体で同様の収集形態を取っているところはありません。この状態で他自治体に処理をお願いすることは、他自治体の負担が増加するとともに費用も増加につながります。
9	B案の中央棟のみ建替更新という方針の上で、次の3パターンの暫定処理方法の費用とCO2排出量を算出して、改めて市民の意見を聞く必要があると思う。 1. プラスチック・ペットボトルを焼却処理 2. プラスチックを焼却処理、ペットボトルはリサイクル処理 3. プラスチック・ペットボトルともに全量リサイクル処理	B案の場合の暫定処理期間中の外部への概算運搬処理費用とふじみ衛生組合でのCO2増加量を次のとおりお示しします。 1 暫定処理費用： 0円/年（税抜）、CO2増加量：約17,000 t/年 ※全て組合内での処理のため 2 暫定処理費用： 300,000,000円/年（税抜）、CO2増加量：約13,000 t/年 ※不燃ごみを保管積替した場合の処理運搬費 3 暫定処理費用：1,000,000,000円/年（税抜）、CO2増加量： 0 t/年 ※プラスチック及び不燃ごみを保管積替した場合の処理運搬費

工事期間中の環境負荷について（リサイクルセンター整備基本計画（案）12ページ 13 工事期間中の環境負荷）

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
10	<p>環境問題への関心の高まりやCO2削減への要請、普段からごみの分別を行っている市民の心情などを踏まえると、プラスチック、ペットボトルの焼却処理というのは受け入れられないと思う。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
11	<p>焼却処理が一番簡単でコストが安く、発電と熱での回収があるというのは理解できるが、一市民の考えとしてはある程度処理費用が増えても焼却処理ではなくリサイクルをして欲しい。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
12	<p>プラスチックやペットボトルが焼却処理されるとなると、環境意識の高い市民がスーパーなどの店頭にあるペットボトル、食品トレイの回収ボックスに持ち込むようになり、ボックスが溢れたりして回収店舗に大きな負担をかけることにならないか？</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
13	<p>「熱回収（サーマルリサイクル）」はリサイクルではない 都環境局のデータ「プラスチック製容器包装（白色トレイ含む、PET除く）の分別実施状況（令和元年度）2021chiran.pdf(tokyo.lg.jp)」を見ると、「※三鷹市と調布市では、溶り協に引き渡せないプラスチックごみを独自処理として清掃工場熱回収しているため、リサイクルとみなせず0とした。」とあります。都はふじみ衛生組合のプラスチックの熱回収を「サーマルリサイクル」とは認めていないのです。</p> <p>都環境局「プラスチック容器包装」のQ&A「CO2削減効果はどのくらい？」には「廃棄物発電（プラスチックを焼却し、その際に発生する熱により発電）により排出されるCO2は、プラスチック1トンあたり約1.92トンです。一方、リサイクルした場合に排出されるCO2は約0.45トンです。</p> <p>廃棄物発電からリサイクルに切り替えることで、プラスチック1トンあたり、1.47トンのCO2削減効果が得られます。（詳しい計算はこちら）」とあります。処理量に余裕を持たせた焼却施設を持っていることが裏目に出ていると感じました。</p> <p>もう「燃やす」を優先する時代ではないのです。容り協引き取りからはじかれたプラスチック製の容器や製品を燃やさない方向で、ぜひ独自ルートを構築してください。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>

14	<p>待ったなしに迫っている危機 今、世界中が異常気象による自然災害に悩まされており、人類（生きとし生けるもの）在亡の危機は待ったなしに迫っています。これ以上の気候変動（温暖化）を食い止めようと、政府・市民・企業が必至でCO2の排出削減に取り組んでいます。</p> <p>そんな中で「リサイクルセンター整備基本計画（案）」は、「リサイクルセンター建設期間中は、プラスチックやペットボトルを焼却するので一時的にCO2排出量は上がるけど、2033年には増加量をチャラにできるし、それ以降は効率のよい施設稼働でCO2を現在の約2分の1にできますよ。だから、ちょっとのあいだ我慢してくださいね。」と言っているわけですね。</p> <p>東京都が2019年12月に策定した「プラスチック削減プログラム」では、「2030年までに、家庭と大規模オフィスから排出される廃プラスチックの焼却量を40%削減することを目標」に掲げています。</p> <p>都の施策とふじみ衛生組合（三鷹市・調布市）の方針は矛盾しているばかりでなく、SDGsの目標-12「持続可能な消費及び生産」にも反しています。</p> <p>さらに、今年4月には「プラスチックに係る資源循環等に関する法律」が施行されます。プラスチック&ペットボトルの焼却処理は、循環型社会実現への努力にますます逆行することになります。</p> <p>日本人一人当たりの年間CO2排出量平均値は約8.5トンといわれていますが、年間17,000トンのCO2の増加は2000人分に相当します。これをふじみ衛生組合は「たった2000人分」とさらりと流せますか？市民や企業、もちろん行政も、高い意識を持って、少ない削減値であっても、それらを積み重ねていくことが重要なのではないのでしょうか。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
15	<p>市民の分別意識の後退 私たちはとかく易きに流れがちです。三鷹市・調布市の市民は、プラスチック及びペットボトルが短期間（3年ほどが短期間かも疑問ではありますが）であっても焼却処理されることを知ったら、「どうせ燃やすのだから」と、まずは容器の洗浄を怠るでしょう。そして、いずれは可燃ごみとの分別も済し崩しになるでしょう。</p> <p>その結果、新リサイクルセンター稼働後も、易きに流れることに慣れた市民の意識は変わらず、予定どおりのリサイクル率向上を果たせない可能性が大きいと思います。</p> <p>再度分別意識を醸成するのに、果たして何年かかることでしょうか。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
16	<p>「工事期間中はプラスチック及びペットボトルの熱回収（焼却）によりCO2が約17,000t/年増加しますと想定しています。」とありますが、私たちはこれを甘受しなくてはならないのでしょうか。</p> <p>結論から申し上げますと、ふじみ衛生組合は安易にプラスチック及びペットボトルの焼却を行わず、まずは三鷹市と調布市に対しプラスチック及びペットボトルの排出削減施策を早急に検討するよう要請してください。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>

17	<p>店頭回収状況を調査 市内のスーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどの販売店での、プラスチック容器やペットボトルの店頭回収状況を調べてみました。市内全域を網羅しているわけではありません。なお、私の目視だけの調査で、店側の了解を得ていないことをご了承ください。</p> <p>調査結果をざっと見て、次の問題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットでも、プラスチック容器やペットボトルが全く回収していないところがある。 ・ドラッグストアやホームセンターではペットボトル飲料を多量に販売しているが、それらを全く回収していない。 ・コンビニエンスストアは、調査した15店舗のうち回収ボックスが店外に設置してあるのは3店舗のみ。店外設置は家庭ごみを入れられるリスクがあるようだが、店内の回収ボックスは容量が小さく客が気付きにくい。 <p>店頭回収をしている事業者は、その経費を、価格転嫁や営業努力で捻出しているものと思われます。また、市民がプラスチック容器やペットボトルを回収していない店で商品を購入した場合でも、店頭回収している他の店の回収ボックスを使用する可能性も大きいです。これらから考え、店頭回収しているところとしないところとでは、公平性に欠けるのではないのでしょうか。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
18	<p>ごみ削減施策の提案</p> <p>施策1-プラスチック容器&ペットボトルを店頭回収に誘導 小金井市がごみ処理施設建設で迷走していた時期に、「ごみの緊急事態宣言」発し、市民の協力により大幅なごみ減量に成功しています。ヤフーニュースによると、小金井市は人口10万人以上50万人未満の市町村の一人当たりのごみ量609.4g/日で1位（2020年度）となっています。三鷹市も692.5g/日で、ぎりぎり10位とがんばってはいます。</p> <p>ごみ少ないランキング 全国上位30自治体は？年間2兆円のごみを減らす5つの要因とは（井出留美）-個人-Yahoo! ニュース</p> <p>三鷹市・調布市も小金井市に習い「リサイクル施設整備に伴うプラスチック&ペットボトル処理に関する緊急事態宣言」的な施策を発出し、市民に店頭回収を利用するよう強く協力依頼するべきです。</p> <p>そして、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア等の販売店には、店頭回収実施の協力を要請します。</p> <p>三鷹市・調布市のごみ対策課は、店頭回収を実施していない事業者等に積極的にアプローチし、場合によっては一緒にリサイクルルート等を構築するなどして、プラスチック&ペットボトルの焼却量削減に取り組んでいただきたいです。</p>	<p>引き続き、三鷹市、調布市と連携し、容器包装プラスチック及びペットボトルの店頭回収への誘導に取り組んでまいります。</p>
19	<p>施策2-自販機設置者へ回収ボックスの義務付け 自販機の設置者が空容器の回収ボックスを設置していない例を時々見かけます。私の自宅近くの上連雀郵便局もその1例です。ちなみに、上連雀郵便局は店内にペットボトルキャップの回収ボックスを設けてはいます。</p> <p>清涼飲料等を販売して利益を得ている設置者は、空容器を適正に処理することとその費用を負担する義務があると思います。また、飲料を補充する際にボックス内の空容器を回収できるので、最短のリサイクルルートだと思います。</p> <p>清涼飲料自販機協議会の自販機自主ガイドライン（2021年4月改定）4、4、2では、リサイクルボックスの設置と空容器の適正処理を規定しています。 guideline_setti.pdf (jama-vm.com)</p> <p>したがって、ごみ対策課では自販機設置の実態を調査・把握し、空容器の行政回収ルート以外の適正な方法で処理するよう指導してください。</p>	<p>課題として三鷹市、調布市と認識の共有を図ってまいります。</p>

施策3-ペットボトルは行政回収を終了するとき

今年4月には「プラスチックに係る資源循環等に関する法律」が施行されます。この法律は、製品を含めたプラスチックのライフサイクル全体を通じての資源循環を促しています。プラスチック&ペットボトルを安易に焼却処理することは、社会的にも理解を得にくい状況になりつつあります。

1月19日のNHKおはよう日本で紹介されたニュースでは、稲城市とサントリーグループが〔「ボトルtoボトル」リサイクル事業に関する協定〕を締結したとのこと。稲城市とサントリーグループとの「ボトルtoボトル」リサイクル事業に関する協定を締結しました 稲城市ホームページ (city.inagi.tokyo.jp)

空気を運んでいるだけのようなペットボトルの行政収集はもうやめませんか。

前述と重複しますが、次の回収方法を検討ください。

- ・販売店による店頭回収の促進依頼や、自販機設置者への空容器回収の義務付け。
- ・破碎型ペットボトル回収機の市内拠点（図書館やコミュニティーセンター）への設置と、リサイクル事業者による直接回収ルートの構築。
- ・稲城市のように、サントリーグループまたは他の飲料メーカーなどと「ボトルtoボトル」リサイクル事業を起こす。短期的には、稲城市にペットボトル処理を委託することもありかな？
- ・上記のような施策を実施し、市民に周知するとともに協力を仰ぐ。

〈参考-リサイクルの成功例〉

1980年代、牛乳容器はビンから紙パックに置き換わりました。

20 プュアパルプ使用の紙パックを使い捨てにするのは忍びないと、1980年代後半からこの問題解決に取り組んだ一人の女性がいます。

まずは、紙漉きではがきを作りました。大まかには、紙パックを水に浸してラミネートを剥がす⇒ミキサーで粉碎して繊維に戻す⇒のりを混ぜた繊維をはがき大のアミを張った木枠で漉す、の順です。それだけでは到底処理しきれませんね。

次に彼女は、自分のネットワークを駆使して回収拠点をつくり、古紙回収業者を巻き込んで紙パックの回収を実施しました。

これがひろがり、あるスーパーチェーンが店頭回収を始め、配送の帰り便を使って集めた紙パックをリサイクルルートに乗せました。その動きがいろいろなスーパーマーケットなどに広がり、現在では牛乳等の紙パックのリサイクルは当たり前になっています。

ペットボトルが高い回収率で「ボトルtoボトル」としてリサイクルされるのも遠い日でないでしょう。

でもその前にまずはリデュースです。私たちは、過剰な容器包装を回避することや、小型ペットボトルを利用しないで水筒を使用するなど心かけることが肝心です。多くの市民がそうすることで、販売店や食品・清涼飲料メーカーも、より環境に配慮した売り方や容器の開発を行うのではないのでしょうか。

課題として三鷹市、調布市と認識の共有を図ってまいります。

21	<p>施策4-ごみ専用の広報誌の発行を ふじみ衛生組合は、年に2回広報誌を発行しています。 三鷹市・調布市でもなど、ごみに特化した広報誌を発行しましょう。ごみに関しては誰もが当事者なので、市民と協働で行うこともできます。 まずは①削減方法（市民の削減アイデアも募集）、②正しい分別方法や店頭回収への誘導（繰り返す必要性あり）、③店頭回収実施の店舗情報、④子ども（小学4年生）のごみ学習の感想、⑤誌上フリーマーケット、などなど、記載記事のアイデアも市民活力を利用してはいかがでしょうか。</p> <p>繰り返しますが、プラスチック、ペットボトルの安易な焼却処理は納得できません。ふじみリサイクルセンターの整備は、まさに新たなごみ削減施策実施のチャンスです。両市のごみ対策課の皆さんは、その英知を集めて、市民（事業者市民）を巻き込んで、減量施策の検討・策定・実施をし、焼却施設を計画的に一時停止するほどの気概を持ってことにあたってください。切にお願いいたします。</p>	<p>ご意見として、参考とさせていただきます。 また、調布市はごみ対策課広報誌として「ザ・リサイクル」を発行し、ごみ分別の周知や啓発等に努めているところです。</p>
22	<p>◎「プラスチック及びペットボトルの熱回収（焼却）」は、極力減らすようにしてください。</p> <p>工事後に新施設稼働で、工事中に排出したCO2増加分を7年間で回収予定とは言え、いま「地球温暖化⇒気候変動」が大きな問題となっている状況をみるに、一刻の猶予もない緊急の対応が迫られていることから、「プラスチック及びペットボトルの熱回収（焼却）」は、極力減らさねばならないと考えます。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
23	<p>◎工事期間中（さらには、常日頃）のさらなる「プラスチック及びペットボトル」ゴミの減量が必要</p> <p>1. 消費者（市民）に対して ゴミの分別排出の徹底を周知するよう、広報。 マイバッグ持参、簡易包装の選択は、当然のことながら、プラスチック製品、ペットボトルを極力利用しないといった踏み込んだ広報も必要なのではないかと思えます。貴衛生組合でのゴミ処理の現状について広報することで、ごみの排出削減にも繋がっていくと思うのですが。</p> <p>また、事業者の店頭回収を積極的に活用するように、知らせていただくことも、ごみ減量に大きな効果が期待できると思えます。</p> <p>2. 事業者に対して ペットボトルなど、大量に販売している事業者には、店頭回収を促すといった働きかけは、されているのでしょうか。 市内でも、スーパー、ドラッグストア、コンビニなど、プラスチック容器やペットボトル飲料を販売している店はたくさんあります。が、店頭回収している店舗は、ごくわずかしか見受けられません。← 店頭回収の現状調査はされていますか？</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p> <p>店頭回収にご協力いただいている店舗は、三鷹市及び調布市のホームページに掲載されております。</p>

24	<p>◎プラスチック及びペットボトルの焼却量の大幅削減にむけて、さらなる努力を希望します。</p> <p>ごみは「燃やして処理すればよい」ではなく、どうすれば、ごみ減量となるのか、それには何が必要なのか、市民や事業者とともに、しっかりと取り組んでいくことを強く求めます。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
25	<p>・東京都環境局140-200-990のQ1に「廃プラを焼却処分した場合に排出されるCO2はプラスチック1トンあたり約1.92トン。一方リサイクルの場合は約0.45トン。廃棄物発電からリサイクルに切り替えることで、プラスチック1トンあたり、1.47トンのCO2を削減することができる」とあります。ここにあるリサイクルとはマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルの意味で焼却のサーマルリサイクルではないと思いますが、このように燃やさず循環するプラスチックのリサイクルができないでしょうか。工事期間ふじみで分別作業ができないのであれば、別の業者への委託はできませんか。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
26	<p>・「プラスチックに関わる資源循環促進に関する法律」など今プラスチックのリサイクルや削減に向かっている世の中の流れなので、まずは市民にプラスチックごみの削減とプラスチックの分別回収など分りやすく周知することが大切だと思います。また、長い工事の期間も循環型リサイクルができるようにしてください。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
27	<p>「工事期間中はプラスチック及びペットボトルの熱回収（焼却）によりCO2が約17,000t/年増加すると想定しています。」とあるところは、特にペットボトルの焼却は許容しがたい。購入元のスーパーなどに回収させることを行えば、減らせる。</p> <p>熱回収というが、気体などになった物質は大気中に放出されている。安易な発想や、7年間で回収されるなどといった言い訳をする前に、どうしたらペットボトルを1本でも焼却せずにリサイクルするか、あるいは、この機会に調布市ではPETボトルを売らない・買わない、捨てるのは世田谷区や府中市でなどといったキャンペーンをすとか、とことん考えるべきである。グレタさんの意見を聞いてみてください。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>

28	<p>「工事期間中はプラスチック及びペットボトルの熱回収（焼却）により CO2が約17,000t/年増加すると想定しています。」とあるところは、特にペットボトルの焼却は許容しがたい。</p> <p>購入元のスーパーなどに回収させることを行えば、減らせる。</p> <p>熱回収というが、気体などになった物質は大気中に放出されている。安易な発想や、7年間で回収されるなどといった言い訳をする前に、どうしたらペットボトルを1本でも焼却せずにリサイクルするか、あるいは、この機会に調布市ではPET ボトルを売らない・買わない、捨てるのは世田谷区や府中市でなどといったキャンペーンをすとか、とことん考えるべきである。グレタさんの意見を聞いてみてください。</p> <p>上記以外は、丁度2年前に提出した意見を参照してください。（残念ながら、今回、時間がなくてほとんど検討していない）</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>
29	<p>生活品の中にこれほどプラスチック製品があふれていることに、イヤ～な思いをしています。</p> <p>個人的にプラ製品を避けても追いつきませんし、やはりこれまでのプラへの依存生活で、軽い、安い(例えばジャム容器)などを選んでしまいます。</p> <p>自覚してプラを避けねばと思います。製造元でもプラスチックでない素材を選んで、つくる時のエネルギーコストを下げ、消滅しない廃プラを出さない方策を探ってもらいたいと思います。</p> <p>リサイクルセンターの工事期間中、プラスチック、ペットボトルを焼却するのではなく、スーパーなどで回収したらどうでしょうか？</p> <p>焼却により、CO2が約17,000t/年増加するとそちらで計算しています。それは7年間で回復（元を取る）するから良いという話ではなく、見るに忍びないことです。</p> <p>また、ペットボトルは、工事期間中だけではなく、日常的に、スーパー、コンビニ、ドラッグストアなどの店舗だけでなく、生協などの宅配業者が担ってくれれば、リサイクルでき、高齢の利用者なども助かるのではないかと思います。</p>	<p>リサイクルセンター整備基本計画（案）では、CO2の増加などの環境負荷への対応、経済性、自区域内処理の原則等を総合的に検討し、熱回収（焼却）での処理が妥当であるとの判断に至りましたが、CO2の増加の問題は認識しております。</p> <p>今後も、三鷹市、調布市と連携し、市民の皆様のプラスチック及びペットボトルの排出量の削減に向け、啓発等に努めてまいります。また、リサイクルの向上を図るため、店頭回収への誘導を積極的に働きかけるとともに、ふじみ衛生組合においても、令和4年度策定予定のリサイクルセンター整備実施計画の中で、工事期間中の新たなリサイクル手法の検討を進めてまいります。</p>